

# 迎春

## 年頭のあいさつ

鬼北町長 甲岡 秀文

町民の皆様

あけまして

おめでとうございます。

皆様にはお揃いで2010年の輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、鬼北町の行政に対し、一方ならぬご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

昨年は私にとって人生最大の転機の年でありました。町民の皆様から付託を受けて、町政をお預かりして9カ月、あつという間に過ぎ去った感じがしています。本日に皆様のお役に立てているのか、自問自答の9カ月でした。

この間、アメリカのサブプライムローン問題を発端とした100年に一度と言われた経済危機は、徐々にはありますが好転の兆しがみられるものの、地方においては、未だ景気回復を実感するまでには至っておらず、都市と地方の間には、大きな格差が生じている状況です。また、国政も変革の時代に突入いたしました。政権は自民党から、「官僚丸投げ」の政治から、政権党が責任を持つ政治家主導の政治へ」とマニフェスト（政権公約）にうたった民主党へと移行いたしました。政権が代わり、これまでの国の基本方針や政策が大転換している状況にあります。地方に住む私たちにとって安堵と期待が持てるのは、「地域主権改革は、政権

の1丁目1番地」と、地方重視の姿勢を打ち出していただいていることでもあります。

国に対しましては、景気の早期回復をはじめ、農林業振興、保健医療対策、雇用問題など、好転しているという実感の持てる政策を推進していただくよう心から願っております。

さて、新年にあたっての私の抱負であります。社会情勢が不透明な時期でありますので、まずはじっくりと国の政策決定プロセスを見つめながら、当町の施策に反映させるためには、何が必要で何が不要なのか施策の選択を誤ることのないよう緊張感と危機感をもって取組んでいきたいと思っております。

「安全で安心して暮らせる活力のあるまちづくり」のため、健康と情熱と意欲を堅持しながら日々精進していきたいと思っております。

また、町といたしましても、引き続き厳しい財政状況が予想されますので、今年の千支の寅において象徴される「判断力」、「意思の強さ」、そして「先取の氣勢」をもって、行財政改革をさらに進めながら、町民の皆様との協働による町民主役のまちづくりを推進してまいります。

愛着と誇りを持っていただける「ふるさと鬼北町づくり」のため、本年も皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆様にとりまして、明るく幸せな年でありますように、心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。